

コロナ対策
続けていますか？

基本的な感染対策の徹底を
継続しましょう

若い世代が感染すると、重症化しやすい高齢者などへ家庭内感染する例もあります。
ワクチン接種の有無にかかわらず、下記の基本的な感染対策の徹底を継続しましょう。

小まめに換気

小まめな手洗いや手指消毒

場面に応じた正しいマスクの着用

3密(密閉・密接・密集)の1つの密でも回避

寒い時期ですが、意識して小まめな換気に努めましょう。また、感染リスクが高まる、▶飲食を伴う懇親会▶大人数や長時間の飲食▶マスクなしでの会話▶狭い空間での共同生活▶居場所の切り替わり

りーなどの場面は特に注意が必要です。また、感染拡大に備えて、ご家庭などで抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の準備をお願いします。

新型コロナウイルス感染症に関する相談・受診の窓口

症状がある場合

かかりつけ医または下記に電話などで相談してください。

●いわて健康フォローアップセンター(24時間対応、土・日曜日、祝日含む)
☎0570-089-005 ☎050-3730-7658

症状がない場合

●一般相談窓口(午前9時～午後9時、土・日曜日、祝日含む)
☎019-629-6085 ☎019-626-0837

抗原定性検査キットを陽性者の同居家族で自身での入手が困難な人に配布します

同居家族が陽性となり、ご本人が濃厚接触者となった場合で、ご自身の感染の有無を調べるための検査キットの入手または検査が困難な人で希望する場合には、検査キットを市が無料で送付します。

■配布対象

同居の家族が陽性となり、本人が濃厚接触者となった人

■申し込み方法

▶専用申し込みフォームから申請(24時間受付)▶新型コロナウイルス感染症対

専用申し込みフォーム

策室(☎41-3605)に電話(平日のみ)ーのいずれかでお手続きください。

■発送日の目安

- 平日午後3時までに受け付けた分…当日発送
- それ以外で受け付けた分…翌日(翌営業日)発送

～下記でも検査キットが入手できます～

①市内薬局やインターネットで購入

②発熱などの症状のある人は、岩手県による「いわて検査キット送付センター」に申請することで、1人につき1回検査キットの送付が受けられます。
※ただし、▶65歳以上の人▶基礎疾患を有する人▶妊娠している(またはしている可能性がある)人▶高熱や咳などが概ね4日間続いている人ーは配布対象外です

③症状のない人は薬局などで実施している岩手県の無料検査が受けられます。
*②③については、岩手県ホームページなどで詳細をご確認ください

検査キット(厚労省)一覧

いわて検査キット送付センター

県による無料検査事業

資源集団回収を活用しましょう

市では、家庭から出る資源物の有効活用と、ごみの減量対策の一つとして資源集団回収を推進しています。

地域の町内会や子供会などが実施する資源集団回収に、積極的に家庭の資源物を出しましょう。

【問い合わせ】▶本館生活環境課(☎41-3544)▶各総合支所市民生活係(大迫☎41-3126、石鳥谷☎41-3446、東和☎41-6516)

■資源集団回収とは

地域の皆さんが自主的に協力し、日時や場所を決めて資源物を回収。それらを資源回収業者に引き渡すことで、ごみの減量と資源循環を図る活動です。

※詳しい内容は、各家庭に配布している「ごみ分別大辞典」に掲載しています。同辞典は上記問い合わせ窓口でも配布しています

■資源物の種類と排出時のポイント

種類	排出時のポイント
紙類	新聞紙・折り込みチラシ ◦紙ひもで縛る ◦黄ばんだものは雑紙としてまとめる
	ダンボール ◦宅配便の伝票やテープなどは外す ◦平らに畳んで紙ひもで縛る
	雑誌・雑紙 ◦本やノートなどは紙ひもで縛る ◦細かい雑紙は紙袋などにまとめる ※雑紙として出せないものがあります
	牛乳パック 洗って広げ、乾かしてから紙ひもで縛る
びん類	一升瓶(茶・緑色で傷のないもの)、ビール瓶 水ですすぎ乾かす
	金属類
金属類	スチール缶 水ですすぎ乾かす
	アルミ缶 ◦水ですすぎ乾かす ◦缶をつぶさないで出す
布類	綿製品など 洗濯し乾かす ※素材が制限される場合があります

※資源回収業者によって回収品目が異なる場合があります

❗紙類を排出する際のお願い

紙類はビニールひもではなく、必ず紙ひもで縛ってください。

雑紙として出せないものの例

- 昇華転写紙(アイロンプリント紙)
- カーボン・ノーカーボン紙(宅配便の伝票など)
- かばんや靴などに入っている詰め物
- 感熱性発泡紙(点字用紙など)
- 感熱紙(レシートなど)
- 写真
- においの付いた紙(洗剤や線香の包装箱など)
- 防水加工されている紙(紙コップ、紙皿など)
- 汚れた紙(食品の残りがすや油が付いた紙箱)
- 箔押しされた紙(金紙、銀紙、アルミコーティング紙など)
- 粘着物(シールなど)
- 圧着はがき(請求書など)
- 書道で使用した半紙

❖上記のものが雑紙に混入すると、リサイクル品の品質低下などの原因になりますので、燃やせるごみとして出してください

資源集団回収運動の優秀団体を紹介します

市では、資源集団回収運動に積極的に取り組んでいる団体を表彰しています。本年度、表彰されたのは次の6団体です。

■子供会部門

▶大通り一丁目子供会(全品目の部)▶西晴山子供会[指定品目(雑誌・雑紙)の部]▶鍋倉二区子供会(回収量の伸び率の部)

■町内会等部門

▶上新田親生会(全品目の部)▶小袋自治会[指定品目(雑誌・雑紙)の部]▶泉畑自治会[回収量の伸び率の部]

●全品目の部と指定品目の部は、それぞれ一世帯当たりの回収量です